

1 はじめに

今年度は、昨年度末頃からのコロナ感染の拡大の影響を大きく受けることになりました。特に第1波の中の4月頃～5月頃は、就労事業所、デイサービス、またヘルパーステーションの移動支援と、活動を自粛される方が多く、収益的にも減収になり厳しい運営を受けることになりました。それでも助成金などの支援を受け、全体として赤字を出すことはなく持ちこたえることができました。十分とは言えないかもしれませんが、出来る範囲で感染症対策を行い、身近に感染者を出さずに来たことや、利用者の方に大きな迷惑をかけることなく取り組んでこれたことに対しは一定の評価につながったのではないかと思います。

ただ、行事などを延期や休止することも多く、利用者や職員の楽しみを減らしてしまったことはとても残念に思っています。特に、5月に予定していた15周年記念パーティーや、地域の方をお招きしてのフェスタの中止は非常に残念でした。

そのような中ですが、出来ることはしっかりと取り組んできました。3年目に入った「ぱれっとイノベーション」も継続して行っています。魅力のある法人づくりをテーマに進めてきましたが、中でも「竹プロジェクト」として取り組んだ就労継続支援B型事業の活動は、昨年度からさらに進展し、行政との連携の範囲の広がりや生ごみコンポストなど新しい取り組みにもつながりました。デイサービスのプロジェクトの「図書館カフェ」もコンサルサントの支援を受け進み始めています。いずれも継続しながらさらに結果を出していきたいと思えます。

その他目標と達成状況については以下に記載します。

・認定NPO法人としての定着化を図ります。

今年度も多くの方のご支援により3,000円以上の寄付者が100名以上となり、図れています。地域への関係づくりは、自治会やネットワークを通して深めてきましたが、企業との関係づくりにはつながらず昨年同様の反省になっています。

・コンサルサントの支援を継続し、魅力ある法人となります。

コンサルサントを継続してお願いしています。理事会や運営会議にも参加いただき、就労プロジェクトやデイサービスプロジェクト、人材育成にも関わっていただいています。魅力を高めることや法人の存在（魅力）を示す発信力を高めるに至っています。

・就労プロジェクトをさらに展開し、地域とのつながりのある事業化を目指す。

神戸市では西区のまちづくり課との連携だけではなく、国際課とのつながりから留学生との共同作業など広がりを見せました。東播磨では、助成を受けての生ゴミコンポストの実験などを行うなど、竹パウダーの商品化を目指した動きもつくることができました。

・共生型サービスの実践

目標は達成できた。9月1日より介護保険デイサービスを軸とした生活介護との共生型を始めました。従来から取り組んできた縦割りの制度の課題を改善することができました。今後は共生型の質の向上を行い、真の共生化につなげられるように進めていきたいと考えています。

・スーパービジョンを取り入れた自閉症の方の支援を始め、支援の充実を図る。

目標に対しては、スーパーバイザーを迎えコラージュのOJTを含めた支援を始めた。しかしOJTにつなげられる機会が少ないことなどから十分に成果を得られることはできなかった。現スーパーバイザーの継続ができないため、次年度は形を変え進めていきたい。

#### ・人材の確保と定着を図る

目標は人材確保の点で達成できませんでした。人材育成についてもコロナで研修等を予定通りに進めることができず職員の質の向上を図る機会は減少しました。移動支援従業者養成研修や行動援護従業者養成研修なども実施できず目標の達成には至っていません。人材不足は継続する課題のため何とか解決を図っていきたい。

#### ・権利擁護などの社会問題に対して提言ができる。

新聞などメディアに取り上げられることがあった。またラジオに出演することもあり、法人の理念でもある「インクルーシブな社会」について発信は行うことができた。

#### ・新規のグループホームの開設を目指します。

グループホーム設立・運営委員会の活動をはじめ、出来るだけ取り組んできた。結果としては出来なかったが、話があれば動いてはきた。場所などもあるが、人材不足の問題も大きな問題のため人材確保をはじめ次年度につなげていきたい。

#### ・次世代交代ビジョンをさらに鮮明にしていきます。

5か年の3年目ではあったが、今年度はあまり具体的に活動がかなわなかった。改めて取り組む内容を分かりやすくして取り組んでいきたいと思います。

コロナ禍による影響は多大であった。経営的もかなり厳しい状況である。次年度も同様であれば、さらに事業に影響を与えられると思われます。少々のことでは揺るがない地盤を改めてつくっていく必要があると感じます。

## 2 特定非営利活動に係る事業

### 1) ヘルパーステーションコラージュ

※定款(1)6、10、13、14、21、

令和2年はコロナから始まりコロナで終わりました。介護事業は基本自粛という形を取らない方針だったとはいえ、やはり今まで通りとはいきませんでした。訪問の支援についてはほぼ前年と変わらずに提供をさせて頂きましたが、ヘルパーが少し調子が悪いとPCR検査はしたのかという声が聞こえてきたり、利用者さんが発熱したとなるとそのまま訪問をしていいものかと頭を悩ませました。医者にかかるにも発熱していると診てもらえないという異常な状況を痛感しました。それでもなんとか1年間1人も感染者を出さずにすんでよかったです。訪問の方はそのようなことでさほど大きく変化はありませんでしたが、ガイドヘルプはそうもいきませんでした。緊急事態宣言がでている街中に利用者さんを出かけることもできず、またマスクや消毒という今までになかった規制の中、それを受け入れることが出来ないからといって利用者さんをお家に閉じ込めておくことは出来ません。とにかく野に山にと屋外に出かけました。春は心地よい自然の空気を感じながらとても気持ちよかったです。厳しかったのは

真夏でした。炎天下の中少しでも涼を求めて、木の多い所や高い山を目指しました。秋になりコロナも少し終息してきて気候もよくなってほっとしていたのですが、再び感染拡大で緊急事態宣言。これはさすがにかなり厳しかったです。でも、こういうガイドもいいなという利用者さんの言葉がこの一年間の私たちが頑張れた機動力になりました。

又、今年度残念なことに、長年支援に入らせていただいていた重度の身体障害の利用者さんがお亡くなりになりました。すごく悲しいことでしたが、本当に最後の最後まで自分を貫いた方の生活を支えたことがこの仕事をしていて本当によかったと思えたことでした。ただこの出来事と今年度に入って新規で受けた居宅訪問介護の人数で、特定事業所加算Ⅰの要件である重度障害者の割合を下回ってしまい、令和3年1月より特定事業所加算Ⅱに下げることになってしまいました。支援の内容や障害の区分で仕事を選ばないのがコラーージュの方針なのですが、加算が減ることはかなりの痛手です。来年度は特定事業所加算Ⅰの再取得を目指していかなければと思います。

#### コラーージュイベント

令和2年6月27日(土) スポーツ大会(ポッチャ) 中止

令和2年12月5日(土) クリスマス会(NPO 法人こぐまくらぶ エールさんにて)

～コロナ対策で縮小して開催～

#### ヘルパー研修

令和2年4月26日 在宅支援の基礎研修 中止 (後日報連相について課題レポート提出)

令和2年9月27日 新型コロナウイルス感染症の対応についてと、近澤先生を講師に招いての研修(幻覚・妄想・依存症の理解と対応)～コロナ対策でソーシャルディスタンスを取っての研修～

令和3年3月20日 法人職員全体研修との合同で障害者に対する虐待防止研修～コロナ対策で別室でのオンライン講義～

#### コラーージュ利用者数

居宅介護 35名 重度訪問介護 1名 同行援護 4名 行動援護 36名

訪問介護 6名 介護予防訪問介護 2名 神戸市移動支援 55名 明石市移動支援 11名

淡路市移動支援 1名 たすけあいサービス(法人独自有料事業) 12名

合計 163名

#### 2)多機能型事業 地域支援事業所ぱれっと(就労継続B型事業 生活介護事業)

##### ※定款(1)6

今年度より、生活介護の移転に伴い、契約者の動きがあった。利用者の就業意欲も定着しており、比較的安定した通所者数を確保できている。しかし、多機能事業所としてももう少し事業による差別化を図ることも検討していきたい。

今年度は特に、新型コロナウイルス流行に伴い、年間行事の中止。送迎便の増加。物資の不足など今までにない状況下であり、作業の方も受注作業の一時停止や作業量の低下があった。しかし、昨年度より取り組み続けていた「就労プロジェクト」の活動が徐々に実を結んでいる実感がある一年だった。

新聞等のメディアの活用をはじめ、SNS などインターネットによる活動の発信を行う事で周囲からの反応も出てきている。今年度に至っては、公的機関からの作業受注や助成金の活用もあり認知の広がりを見せている。反面、今まで取り組んでいた作業内容の見直し、新たな作業に対する支援方法の模索など課題は浮き彫りになっている。

コロナ禍でありながらも昨年と同様額の工賃を支払うことが出来ていることは、実質作業としての売り上げは向上の傾向を示していると考え。今後は、より安定した収益につなげ、工賃が向上するように取り組み、利用者が安心して通所が出来る安定した事業運営を意識した取り組みを進めていきたいと考えます。

#### 実施行事等

花見&バーベキュー	内容変更	4月2日
日帰り旅行	中止	
忘年会		12月28日
土曜日開所	中止	

#### 就労&生活介護 家族会

8月6日(木) 10:00~12:00	法人事業計画の説明	就労 生活介護事業説明等
10月5日(木) 10:00~12:00	相談支援事業の紹介	法人内の質疑応答 就労、生活介護事業の取り組みと説明
3月4日(木) 13:30~15:00	開催予定	

#### 作業関係

##### 就労プロジェクト(竹プロジェクト)の取り組み

##### 東はりま県民局助成金の活用

環境保全と高付加価値製品の開発に取り組む。  
コンポスト材としてモニター説明会&配布会の実施。  
令和2年11月14日(土)  
令和2年12月12日(土)

##### 令和2年12月～ 西区役所から竹林整備のトライアル作業

(神戸市営地下鉄 伊川谷駅近くの川沿い 伐竹、粉碎作業)

##### 令和3年1月～ 神戸市企画調整局

(西神オリト山公園 伐竹作業、神鉄 木津駅近くの山林 竹粉碎作業)

## メディア掲載

11月9日 加古川経済新聞(WEB版)

11月7日 神戸新聞掲載

12月26日 BANBAN ラジオ

KOBE WESTNET 西区自立支援協議会 就労ネットワーク

KOBE にし😊(にこ)SHOP 設立プロジェクト 参加

多機能利用者数 就労継続支援B型事業 19名 生活介護(就労系)3名

### 3) デイサービス(地域密着型通所介護、介護予防通所介護 共生型生活介護)

※定款(1)14、16

今年度はコロナ禍出のスタートになりました。第一波の5月の連休明け(緊急事態宣言解除)までは、多くの利用者の方が自粛をされ、主に単身で生活されている方だけが利用をされる状態になりました。そのため経営的には厳しい状態になっています。

さらには、感染対策のため外出の機会を減らしたため、利用者の活動が控えられてしまうことにもつながり、満足度も低下したように思われます。それでも利用者ミーティングを継続して開催し、意見を取り上げ、食事やティータイムのリクエストに活かすなどの取り組みを継続し行っています。また、芸術活動も季節ごとの創作活動を続け定着化しています。楽しみにつながるように、また成果物を展示会などに出せるようにしていきたいと思います。

運営的には、サービス提供時間を短縮することで、十分とは言えないが活動の中身を議論するようになり、スタッフミーティングの時間をしっかり持つことで日々の利用者支援などに活かすようにしています。

9月1日からは、共生型生活介護の指定も取り、「デイサービスぱれっと」として介護保険と障害支援のサービスを一体的にできるようになりました。今後は共生型の利点を生かし、多様性に対応できるデイサービスをさらに進めていきたいと思っています。

また、スタッフ間で検討しながら進めてきたデイサービスプロジェクトの「図書館カフェ」の実現に向けて動き始めています。コンサルタントの寄玉氏の指導の下、明石高専建築学科の学生の協力を得てスタートも近くなってきています。地域共生社会のモデルになるように、まずは地域交流を図れるようにしていきたいと考えています。

### 日帰り旅行

第1回 9月23日 予定 →中止

忘年会 12月28日(月)実施 参加利用者 6名

デリバリーのお寿司 クイズ大会など





今年度はコロナにより、家族交流会等行事が中止になりました。少しでも楽しみが提供出来るように、十分に感染対策をしたうえで3月6日にバーベキューを行いました。

月1回の土曜開所日は、日中ガイドを利用して外出しほわいとに帰宅するパターンで定着しました。

1名の世話人さんが退職されましたが、3名の世話人さんを採用することができました。次のグループホーム設立に向けても現在のほわいとの配置的にも人材はまだまだ必要な状況です。



赤い羽根共同募金さんの助成金でソファベッドを購入しました。

6) 移動支援従業者養成研修(ガイドヘルパー養成研修 (全身性 知的))兵庫県指定  
※定款(1)2、3、10、24

移動支援従業者養成研修

コロナ禍のため開催することができませんでした。

行動援護従業者養成研修

コロナ禍のため開催することができませんでした。

7) グループホーム設立・運営委員会

※定款(1)1、3、6

第1回グループホーム設立・運営委員会

令和2年6月7日(日)10:00~11:30 予定もコロナのため中止する。

アンケート調査を代わりに実施する。

令和2年10月4日(日)10:00~11:30 参加者 11名 法人3名 ドライブ2名

昨年度の報告

今年度の活動の予定

アンケートの報告

現在の案件の紹介

令和3年2月7日(日)10:00~11:30 参加者 11名 (内オンラインでの参加8名) 法人2名

※初めてオンラインも活用しての会議を開催した。

今年度の報告

来年度の活動について

見学したグループホームの紹介

現在の案件について

#### 第1回グループホーム見学

クレストホーム様 建設のホームの見学 (神戸市北区岡場)

2階建て 1階、2階とセパレートタイプ

令和2年10月18日(日)11:00 ~11:40

参加者 委員会より4名 職員2名 計6名



#### 8) その他の事業の実施

※定款(1)1 地域福祉に関する調査・研修・発表事業

(1)2 地域福祉の啓蒙・啓発活動事業

定款(1)の1, 2に該当する活動を直接的には実施できていません。しかし各プロジェクトなどを行うあたり啓蒙・啓発の活動にはつながっています。さらには、KOBE WEST NET や 135E ネットの活動を通して地域福祉に関する調査・研修・発表事業を実施することができています。

#### 9) 未実施の事業

※定款(1)4、5、7、11、12、15、17、18、19、20、22、23

においては、令和元年度は機会が持てず実施できませんでした。

次年度以降の実施課題として準備していきます。

#### 3 事業実施体制

(1) 会議に関すること

① 総会 令和2年6月14日(日)10:00~11:00

コロナ禍のため、書面決議での開催になる。

議事 平成31年度事業報告 令和2年度事業計画等 議事は全て了承を得る

② 理事会

○第1回 令和2年4月22日(水)18:30~20:30

※コロナ禍のため書面決議を実施する。

出席者 7 名

議事 平成 31 年度事業報告 令和 2 年度事業計画案他 総会に向けて

○第2回 令和 2 年 9 月 16 日(水)18:30~20:00

出席者 10 名 委任状 1 名 欠席 1 名 オンライン参加 3 名

議事 事業経過報告 他

○第3回 令和 2 年 12 月 16 日(水)18:30~20:00

出席 10 名 オンライン参加 5 名

議事 事業経過報告 他

○第4回 令和 2 年 3 月 10 日(水)18:30~20:00

出席 12 名 オンライン参加 7 名

議事 令和 2 年度事業報告 令和 3 年度事業計画等

### ③職員全体会議

常勤職員(正規職員 契約職員)出席

第1回 3 月 20 日(土) 13:00~13:30 次年度の事業計画等の説明

※5 月 9 日 8 月 29 日 も予定していたがコロナ禍のため中止している。

### ④運営委員会

所長 事業長 事務長 課長等 出席

4 月 21 日(火)9:30~11:00 5 月 19 日(火)9:30~11:15 6 月 16 日(火)9:15~12:15

7 月 21 日(火)9:40~11:40 8 月 18 日(火)10:00~11:30 9 月 15 日(火)10:00~12:00

10 月 20 日(火)10:00~11:00 11 月 17 日(木)10:00~11:30 12 月 17 日(木)13:25~14:45

1 月 19 日(火)10:00~12:00 2 月 25 日(木)13:15~15:00 3 月 18 日(木)13:15~15:00

議事 各部署報告及び検討事項 運営方針・活動に係る検討、事業運営確認 その他研修等

※4 月 1 日 臨時管理職会議(課長職以上)開催

### ⑤各事業会議

#### 1)ヘルパーステーション コラージュ会議

管理者 サービス提供責任者 常勤職員

議題 事業内容 個別カンファレス等

4 月 25 日 5 月 23 日 6 月 27 日 7 月 25 日 8 月 22 日 9 月 24 日 10 月 17 日

11 月 28 日 12 月 26 日 1 月 23 日 2 月 27 日 3 月 20 日 計 12 回

#### 2)就労会議

所長 管理者 支援スタッフ

議題 事業内容 作業内容 個別カンファレス等

4 月 15 日 5 月 20 日 6 月 17 日 7 月 15 日 8 月 20 日 9 月 9 日 10 月 21 日

11 月 18 日 12 月 9 日 1 月 27 日 2 月 17 日 3 月 20 日 計 12 回

### 3) デイサービス会議

デイサービス 生活介護(余暇型)スタッフ

議題 事業内容 個別カンファレンス等 (＋デイプロジェクトに関する会議)

4月8日 5月13日 6月10日 7月8日 8月12日 9月9日 10月14日  
11月18日 12月9日 1月13日 2月10日 3月20日 計12回

### 4) 相談事業会議

相談支援専門員

議題 事業運営 情報交換

4月1日 5月28日 6月18日 8月10日 9月2日 9月17日 10月20日  
11月2日 11月24日 12月2日 1月8日 2月1日 3月1日 3月20日  
計 14回

その他随時引継等を行う。

### 5) グループホーム会議

管理者 サービス管理責任者 世話人

議事 グループホームほわいとにおける設備、備品等に関する事。業務に関する事。行事、  
利用者個別カンファレンス等

4月8日 6月11日 8月13日 10月14日 3月20日

※ 3月20日はハリマ防災様からの防災機器取り扱い訓練も受ける。計 5 回

## (2) 研修に関する事

### ① 外部依頼(講師派遣)

今年度の講師派遣は無し

### ② 職員全体研修

第1回 職員研修 令和2年5月9日 予定 中止

第2回 職員研修 令和2年8月29日 予定 中止

第3回 職員研修 令和3年3月20日(土)10:30~12:00

虐待防止・権利擁護研修 「障害者に対する虐待防止」

講師 明石市基幹相談支援センター兼虐待防止センター 橋田 浩氏

オンラインでも実施(全職員対象) 参加者 45名





オンラインコラージュ



オンライン就労

③ ヘルパー研修

第1回ヘルパー研修(4月26日開催予定)は中止

課題(報連相について)の資料を配布の上、研修レポート提出

第2回ヘルパー研修 令和2年9月27日(日) 9:30~12:00

9:30~10:00 新型コロナウイルス感染症への対応について

10:00~12:00 「幻覚・妄想」の症状を持つ人への理解と対応

「依存症」への理解と支援

講師 兵庫県立大学名誉教授 近澤先生 20名参加

第3回ヘルパー研修(1月24日に開催予定)は中止

3月20日職員全体研修に合同で「障害者に対する虐待防止研修」16名参加

④ 外部研修(研修名 主催 参加者数で記載)

多職種勉強会「新型コロナ第2波に備えて」 西区医師会他 1名

中堅職員研修「フォローアップと後輩指導」 神戸市民福祉大学 1名

西区自立支援協議会 人権擁護・虐待防止研修 西区自立支援協議会 2名

障害者施設における新型コロナ感染症対策 135E ネット 1名

精神障害者就労支援事業所連絡会研修報告 職親会 1名

医療的ケア児等コーディネーター フォローアップ研修 社会福祉士会 1名

精神保健福祉研修 アルコール依存症 神戸市 1名

特定相談支援事業所連絡会研修 神戸市 2名

地域移行・地域定着支援事業所連絡会 神戸市 1名

福祉専門職防災対応力向上研修 兵庫県 3名

健康経営セミナー 神戸市 明治安田生命 2名

医療的ケア児支援者研修 社会福祉士会 1名

東播磨相談支援事業者チーム支援ネット 研修 1名

精神保健福祉研修 発達障害 神戸市 1名

明石市権利擁護・虐待防止研修 明石市社会福祉協議会 1名

ノロウイルス食中毒予防研修会 西区 1名

※今年度はオンラインで開催された研修も増えている。上記の中でもオンラインの研修あり。

⑤ ネットワーク主催研修

外部研修の中に含めている。多くの研修が今回中止になっている。

⑥ 家族向け研修会

相談支援事業について(就労 生活介護家族会時実施) 11名参加

⑦ 職員育成研修

介護職員初任者研修を1名受講(事業料金 法人負担 一部出勤扱いとした)

(3) 広報に関する事

ホームページ

川畑氏との契約を継続し、ホームページの管理や更新をしていただく。  
令和2年度、大幅な改定を行っている。スマートフォンでも見やすくなった。

法人広報誌の発行 年4回

4月号 新年度の挨拶 コラージュ移転案内 会員募集案内 等

7月号 就労事業の紹介 総会報告 等

10月号 コロナのつきあい コラージュよりガイド報告 職員から 等

1月号 新年あいさつ 職員から 相談支援事業について 等

デイサービス広報誌発行

毎月発行 月の予定 行事等の報告など

15周年記念誌の発行

(4) ネットワークに関する事

1) KOBE WEST NET (西区自立支援協議会)

代表職 5月にて退任した。(川田)

各種ネットワークや 研修行事等にも参加している。(担当者制)

くらす部会 まなぶ部会 に参加(川田)

今年度はコロナにより実施回数が少なかった。年度途中よりオンラインでの開催も広がった。

2) 明石障がい者地域生活安心ネットワーク(135Eネット)

理事に就任(川田)

ひなたぼっこコアメンバーとして参加(川田)

ARTSHIP明石担当(川田)

### 3) 明石市自立支援協議会

各部会等で行われる連絡会等に参加。主に相談支援事業所の連絡会、交流会等に主に参加している。ただし今年度は、コロナのため大幅に活動がなかった。

### 4) 障害者問題を考える兵庫県連絡会(理事長 副理事長が個人会員で参加)

事業所職員交流会は今年度開催されず。総会及び研修会にはオンラインで参加

### 5) 枝吉自治会 今津自治会

地域支援事業所ぱれっと グループホームほわいとの所在地域の自治会に加盟している。

枝吉自治会では賛助役員として役員会等で活動をしている。安全パトロールにも職員有志で参加している。

### (5) 地域とのつながり

ふれあいフェスタを11月に予定していたが、コロナのため中止した。

次年度は開催できるように進めていきたい。

## 4 管理部門

### (1) 労務管理

昨年度からの取り組みになるが、働き方改革より、勤務時間管理を各事業長が軸となり行い進めた。有休管理も合わせて実施していくように進めた。有休休暇の消化率は上がった。

### (2) 職能評価の実施

昨年度より、特定処遇改善手当に対する職能評価を今年度も実施した。また、従来より働く上での目標作成や定期的な振り返りを行うため D-cup シートも今回も採用した。目標を掲げての取り組みに加え職能の向上をみる2段階で進めながらも内容は進化するように取り組んでいきたい。

### (3) 車両

公用車、通勤車の管理について車両担当者を配置し取り組んでいる。それにより日常の混乱を招かないような仕組みができ、且つ車両を安心して利用することができている。大きな事故等は見られなかったが小さくても人身事故もあったのでさらに気を付けたい。事故報告も上がってくるようになったが、まだ車両に傷があっても報告が上がらないケースもあり今後検討が必要。

反省点としては、職員の細部まで意識が届いていないことが上がり、点検や清掃が職員によってはできていないなどあるので改善を図りたい。

- ・安全運転管理者 研修受講及び全職員への報告 安全協会からの広報誌等の回覧の実施
- ・整備管理者 点検、車両業者との連絡調整等の実施
- ・配車担当 通勤者 公用車の配車調整を行う。

次年度は、ドライビングの評価テストなど取り組みさらに事故の軽減などを図っていきたい。

### (4) 防災

- 1) 点検 業者による点検が、就労・デイサービス 年1回 グループホームほわいと年1回

あった。

1) 防災訓練

今年度は新型コロナウイルスの影響で実施を控えた。

3月20日にハリマ防災の支援を受け機器取り扱い訓練を実施した。(スタッフ8名参加)



※ほわいの感知器が誤作動を起こし、自動通報される事態があった。今後も同様のことがあ  
る恐れがあるため勤務者が対応できるようにしていきたい。

(5) 組織体制(3月31日現在)

1) 役員 理事 10名 監事 1名 計 11名

2) 職員 正規職員 10名 契約職員 2名 非常勤職員 35名 計 47名

役員に変更は無し。職員は2名が契約社員から正規職員に昇格した。3月末までに正職員2名が退職した。